



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,266	△3.1	252	△10.7	276	0.5	177	△60.4
29年3月期第1四半期	2,340	5.9	283	△10.1	275	△32.8	448	65.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 204百万円 (△50.2%) 29年3月期第1四半期 410百万円 (23.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	13.40	13.40
29年3月期第1四半期	33.73	33.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	27,747	16,642	53.4
29年3月期	28,067	16,539	52.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 14,829百万円 29年3月期 14,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—				
30年3月期(予想)		7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,336	2.1	412	△15.5	493	△10.3	317	△49.7	23.95
通期	8,572	3.3	854	3.9	1,006	1.7	658	△20.1	49.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	14,000,000 株	29年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	762,141 株	29年3月期	765,141 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	13,235,485 株	29年3月期1Q	13,291,675 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用環境が改善し緩やかな回復基調がみられるものの、米国新政権の政策動向による不確実性や地政学的リスクの高まりなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では就労人口の増加等によりユニフォーム業界に明るい兆しがみられるものの、百貨店を中心とした衣料品の伸び悩みは依然続いており、厳しい状況で推移しました。一方、不動産活用事業は、二つの大型商業施設が安定した集客力を維持しており、また病院施設の賃貸収入と合わせて、営業収益の安定化を図っております。

この結果、当社グループの売上高は22億66百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は2億52百万円（前年同期比10.7%減）、経常利益は2億76百万円（前年同期比0.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億77百万円（前年同期比60.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント別の売上高及び営業利益は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、レーヨン糸及びアクリル紡績糸を中心に産地の需要が増加し、輸入原糸販売は好調に推移しました。また、ポリエステル生地の販売は、輸出向けを中心に更に需要が拡大し増収増益となりました。

アパレル部は、ユニフォーム業界に景気回復がみられる中、法人ユニフォームの直需と百貨店の受注は引き続き堅調に推移したものの、スポーツ関連商品は好調だった前期程の受注が得られなかったことから減収となりました。一方で経費の節減に努め増益となりました。

カジュアル部は、新たにキャンプ関連商品及びOEM商品の販売を開始したことから増収となり、営業損失が縮小しました。

刺繍レースを扱うフロリア(株)は、ノベルティ商品の売上は堅調に推移したものの、服地レースと付属レースの売上が低迷し減収減益となりました。

この結果、繊維事業の売上高は13億46百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は6百万円（前年同期比2,202.7%増）となりました。

② 不動産活用事業

「イオンモール川口前川」は、近隣の大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価され、「イオンモール川口」は開設から33年経つものの近隣住民の方が固定客として定着しており、二つの大型商業施設と病院施設を主とする不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。利益面は遊休資産の防災及び整備工事を進めていることから費用が増加して減益となりました。

この結果、不動産活用事業の売上高は6億72百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は2億22百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、梅雨時期においても天候に恵まれたことから入場者が伸び増収となりましたが、人工芝の張替を行った影響から費用が増加して減益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は2億41百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は22百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

④ その他の事業

ギフト事業部ディアグリーン課の緑化事業は、観葉植物の新規レンタル契約獲得と慶弔用の花卉ギフト販売に注力し増収となりましたが、人員増により販売費が増加して減益となりました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、当社が賃貸する大型商業施設の店舗入替に伴う内装工事等を引続き受注したことや、当社グループが営むゴルフ練習場の人工芝張替工事等を行い、増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は2億85百万円（前年同期比29.7%増）、営業利益は23百万円（前年同期比301.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、減価償却が進んだことや有形固定資産の取得や未払法人税等の納税により現金及び預金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ3億19百万円減少して277億47百万円となりました。

負債は、長期借入金の返済や未払法人税等の納税等により前連結会計年度末に比べ4億22百万円減少して111億5百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末の配当金の支払いがあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前連結会計年度末に比べ1億2百万円増加して166億42百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ4億68百万円減少して25億68百万円となりました。

営業活動により支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ4億2百万円増加して29百万円となりました。これは主にたな卸資産が増加したこと、税金等調整前四半期純利益の減少やその他に含まれる未払消費税等の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ6億63百万円増加して1億90百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したことや投資有価証券の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は前第1四半期連結累計期間に比べ38百万円増加して2億48百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,282,611	2,808,879
受取手形及び売掛金	1,049,093	1,088,035
有価証券	208,434	180,527
商品及び製品	1,091,428	1,193,972
仕掛品	12,007	52,455
原材料及び貯蔵品	31,824	28,585
その他	395,205	377,866
貸倒引当金	△760	△644
流動資産合計	6,069,845	5,729,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,292,647	10,277,210
土地	6,731,220	6,772,164
その他(純額)	170,344	190,028
有形固定資産合計	17,194,211	17,239,403
無形固定資産	12,455	13,661
投資その他の資産		
投資有価証券	4,401,517	4,398,091
その他	390,149	367,556
貸倒引当金	△529	△487
投資その他の資産合計	4,791,136	4,765,160
固定資産合計	21,997,804	22,018,225
資産合計	28,067,649	27,747,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567,296	624,588
短期借入金	50,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	544,408	491,892
未払法人税等	237,241	59,581
賞与引当金	59,681	28,687
役員賞与引当金	5,720	1,430
その他	1,273,370	1,182,832
流動負債合計	2,737,718	2,459,012
固定負債		
長期借入金	1,394,621	1,302,285
役員退職慰労引当金	229,442	233,073
退職給付に係る負債	158,200	169,511
長期預り保証金	6,578,920	6,554,332
その他	429,718	387,683
固定負債合計	8,790,903	8,646,886
負債合計	11,528,621	11,105,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	871,122	871,244
利益剰余金	12,282,917	12,369,029
自己株式	△457,647	△456,302
株主資本合計	14,098,392	14,185,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	683,629	679,614
繰延ヘッジ損益	△1,307	△733
退職給付に係る調整累計額	△36,283	△35,287
その他の包括利益累計額合計	646,039	643,593
新株予約権	15,058	6,275
非支配株主持分	1,779,537	1,806,164
純資産合計	16,539,027	16,642,004
負債純資産合計	28,067,649	27,747,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,340,220	2,266,539
売上原価	1,651,379	1,594,999
売上総利益	688,841	671,540
販売費及び一般管理費	405,715	418,838
営業利益	283,125	252,701
営業外収益		
受取利息	1,929	3,105
受取配当金	44,335	38,822
その他	5,843	14,709
営業外収益合計	52,108	56,636
営業外費用		
支払利息	15,257	11,930
固定資産除却損	2,000	7,747
持分法による投資損失	3,763	7,116
その他	38,862	5,698
営業外費用合計	59,882	32,492
経常利益	275,351	276,846
特別利益		
投資有価証券売却益	418,032	-
新株予約権戻入益	9,604	8,972
特別利益合計	427,636	8,972
特別損失		
投資有価証券評価損	20,406	-
特別損失合計	20,406	-
税金等調整前四半期純利益	682,580	285,818
法人税、住民税及び事業税	193,550	58,953
法人税等調整額	4,590	19,160
法人税等合計	198,140	78,114
四半期純利益	484,440	207,704
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,141	30,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	448,298	177,320

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	484,440	207,704
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,484	△7,074
繰延ヘッジ損益	1,196	573
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,726	3,029
その他の包括利益合計	△74,014	△3,470
四半期包括利益	410,425	204,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	377,457	174,874
非支配株主に係る四半期包括利益	32,968	29,358

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	682,580	285,818
減価償却費	177,815	171,377
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△101	△157
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,217	△30,994
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,440	△4,290
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,622	11,311
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△10,068	3,631
受取利息及び受取配当金	△46,265	△41,927
支払利息	15,257	11,930
持分法による投資損益(△は益)	3,763	7,116
有価証券運用損益(△は益)	18,825	△9,373
投資有価証券売却損益(△は益)	△418,032	-
売上債権の増減額(△は増加)	△87,710	△38,941
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,602	△139,752
仕入債務の増減額(△は減少)	57,078	57,292
預り保証金の増減額(△は減少)	△20,387	△24,587
その他	174,994	△100,268
小計	494,112	158,182
利息及び配当金の受取額	48,522	44,127
利息の支払額	△15,084	△11,758
法人税等の支払額	△154,084	△219,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	373,465	△29,186
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	10,000	86,448
有形固定資産の取得による支出	△108,702	△233,679
有形固定資産の売却による収入	1,763	-
投資有価証券の取得による支出	△39,029	△106,423
投資有価証券の売却による収入	578,032	30,001
定期預金の増減額(△は増加)	△10,454	4,948
貸付けによる支出	△1,330	-
貸付金の回収による収入	210	1,410
その他	42,109	26,470
投資活動によるキャッシュ・フロー	472,598	△190,823
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	380,000	180,000
短期借入金の返済による支出	△360,000	△160,000
長期借入金の返済による支出	△105,252	△144,852
配当金の支払額	△91,131	△91,208
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
その他	△30,750	△29,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,866	△248,773
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,399	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	634,798	△468,783
現金及び現金同等物の期首残高	2,486,907	3,037,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,121,706	2,568,653

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,298,662	603,013	236,960	2,138,636	201,583	2,340,220	—	2,340,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	67,492	—	69,592	18,755	88,347	△88,347	—
計	1,300,762	670,505	236,960	2,208,228	220,339	2,428,567	△88,347	2,340,220
セグメント利益	286	246,081	31,448	277,817	5,951	283,768	△642	283,125

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (千円) (注)3
	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,344,771	604,599	241,263	2,190,633	75,905	2,266,539	—	2,266,539
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,100	67,582	—	69,682	209,837	279,519	△279,519	—
計	1,346,871	672,181	241,263	2,260,316	285,743	2,546,059	△279,519	2,266,539
セグメント利益	6,607	222,613	22,986	252,207	23,877	276,085	△23,383	252,701

(注) 1 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。